

世界遺産総本山仁和寺・京都大学
第2回勉強会 「文化財の未来への継承」

2012年12月21日（金） 総本山仁和寺

世界遺産総本山仁和寺と京都大学工学研究科先端イメージング工学研究室は、江戸時代初期に創建された重要文化財の観音堂および宸殿の障壁画を対象としたデジタル化プロジェクトを実施いたしました。先端イメージング技術で記録・保存された文化財の高精細デジタル画像は、詳細な科学情報として、今後、修復や研究に継続的に寄与されます。

本年7月に開催した勉強会に続き、第2回目となる勉強会は2部構成にいたします。第1部（午前）は、京都大学工学研究科先端イメージング工学研究室が記録した仁和寺観音堂障壁画および仏像の高精細画像の詳細を確認・意見交換を行い、今後の具体的な検討項目と研究課題を抽出します。第2部（午後）は、「最先端科学技術を用いた有形・無形文化遺産の保護と活用」をテーマに、ユネスコが推進する世界遺産活動に取り組んでいる研究者や実務者の技術・研究交流の促進を目的に、より広い連携と協働体制の構築を目指します。

時間	プログラム
9:45	開場 受付場所 総本山仁和寺 御室会館
10:00	第1部：世界遺産 総本山仁和寺・京都大学 「文化財の未来への継承」 世界遺産仁和寺観音堂 4K ディスプレイを用いた高精細画像の表示 京都大学工学研究科井手研究室 (昼食) 勉強会会場にて
14:00 - 14:30	休憩

14:30	<p>第2部：「最先端科学技術を用いた有形・無形文化遺産の保護と活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶 総本山仁和寺 ○ 仁和寺観音堂内荘厳画について 林 温（慶應義塾大学文学部 教授） ○ 夢はバイオの花見 中村 健太郎（住友林業株式会社筑波研究所木質資源グループ 主席研究員） <p>.....休憩.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵画史研究における科学の可能性 —二条城行幸図屏風の紹介をかねて— 廣川 守（泉屋博古館学芸課 課長） 実方 葉子（泉屋博古館学芸課 主査） ○ まとめ 井手 亜里（京都大学工学研究科 教授）
17:00	質疑応答：参加者全員
17:30	終了

*昼食は準備しております。

*勉強会の写真撮影・録音・録画はご遠慮頂きますようお願いいたします。